骨子表（2022 版）　施工計画、施工設備及び積算　Ⅲ問題用　（Ⅲ－2）　社会資本整備を適切に実行していくための建設生産プロセスでの課題

問題	問題分析	解決の方向性	実現上のハードル	リスク対応の具体策
現状の分析、あるべき状態との差異	課題抽出 問題の発生原因分析 多面的に内容と共に示す	解決の方向性、すべきこと １つ挙げ複数の解決策を述べる	新たに生じる懸念事項(2 次リスク）※新たに生じるリスク	制限事項への対応も踏まえた具体的な提案内容 ※専門技術を踏まえて回答
1. インフラが置かれている状況 ・高度経済成長期に一斉に構築されたインフラ老朽化が進行 ・老朽化がほぼ同時期に発生 ・構築されたインフラの種類や量が多い 2. 社会情勢の変化 ・少子高齢化の進行 ・建設プロセスの担い手が減少 ・産業間での人材争奪 3. 自然環境の変化 ・気象現象の極端化、災害の激甚化 ・気象現象が既存インフラの設計条件を超過し、改修や補強が必要	1. 建設生産プロセスの生産性が低い ・現場単品生産、現場ごと最適化 ・現場作業が主、自然条件や気象条件に左右される ・人手に頼る作業が多く、熟練技能工や慣れた技術者が必要 ２. 計画・調査から維持管理・廃棄に至るプロセス間での情報連携が不十分 ・複数の関係者が関与 ・設計施工分離が原則 ・データ連携が不十分 3. 建設関連産業の公共事業依存度が高い ・閑散期、繁忙期の差が大 4. インフラ老朽化対応が不十分 ・修繕が進まない ・インフラが多種、多量	1. 生産プロセスでの省力化 ・機械化、自動化推進 ・ユニット化、Pca 化 ・ICT の活用 2. 生産プロセス間での情報共有推進 ・情報の見える化、汎用化 ・ICT の活用 ・調達手法の選定 3. 人材の確保 ・就労環境改善 ・働き方改革の推進 ・CCUS の活用 ・多様な人材活用 ・発注の平準化	1. 省力化により、既存技術が失われる 2. 情報の喪失、不整合の発生 ・データ保管情報の不備による情報喪失 ・プロセス間での情報不整合の発生 3. 人材確保を継続するための費用が多額となる	既存技術の継承と保存 ・暗黙知の形式知化 ・ナレッジ DB 蓄積 ・AR 化、VR 化 データ管理の一元化と共有 ・データプラットフォームの活用 適正費用の確保 ・人材確保が可能な予定価格の設定 ・各種補助、支援の活用